

環境行動計画と実績評価

2003年度に取り組んだ主な環境行動計画と実績・評価をまとめました。また、2004年度を含む2010年までに取組む方針を盛り込んだ行動計画は次の通りです。

年度推移等の詳細データは各項データを参照ください。

項目	行動計画と2003年度目標	2003年度実績
地球温暖化防止	エネルギー起源CO ₂ の排出量を 1990年度比 99.1%以下に削減	1990年度比 91.2%
	温室効果ガス(SF ₆)排出量の削減 (2004年度からの取組み)	-
廃棄物の削減	廃棄物の最終処分量を 1998年度比 85.7%以下に削減	1998年度比 54.3%
	ゼロエミッションへの取組み 最終処分率 5%以下への低減をめざす(1)	平均 2.9% 工場別では 3サイトが5%以上
化学物質の管理	化学物質「削減物質」(2)の排出量 2000年度比 15%削減	2000年度比 56.1%削減
	2005年に化学物質「禁止物質」(2)の排出全廃	排出全廃に向けての取組み
	PCB使用電気機器保管管理の徹底と処理計画の立案	保管管理の徹底
環境に配慮した製品拡大	アセスメント基準に適合した環境適合製品の拡大と 日立グループ環境情報表示制度への登録適用率(3)を 60%以上にする	登録適用率 63.9%
	六価クロム・鉛・カドミウム・水銀・PBB・PBDEを 全廃する(2004年度)(顧客仕様品は除く)	計画的に推進実施
	はんだの鉛フリー化(顧客仕様品除く) 電子機器基板での接続はんだについて鉛フリー化	自社仕様品について完了
グリーン調達	購入品原材料・部品について含有化学物質把握と 有害物質削減を計画的に推進実施	計画的に推進実施
環境経営の推進	グループ会社環境経営の推進と拡大	・環境負荷報告対象会社 16社 ・ISO新規認証取得 3社
環境教育	・従業員と家族に対してエコマインドの醸成につとめる ・従業員教育の推進と法定資格者の充実	・従業員家族向け広報の実施 ・従業員へのeラーニングによる環境教育実施
ステークホルダーとの共創	事業所施設の開放、地域の清掃活動・緑化活動の 実施などを通じ、社会貢献活動に取組む	・地域の清掃活動実施 ・公園整備ボランティア実施など

$$(1) \text{最終処分率} = \frac{\text{最終処分量}}{\text{有価物・廃棄物の総発生量}}$$

最終処分率実績は、サイトによって大きく異なります。最終処分率が最も大きいサイトであっても5%以下とするように取り組めます。

(2)日立自主管理化学物質では、化学物質を「禁止物質」「削減物質」「自主管理物質」の区分に分けて排出管理をしています。
また、排出削減量の算出には「禁止物質」「自主管理物質」も含まれます

$$(3) \text{適用率} = \frac{\text{環境適合製品売上高}}{\text{当該製品グループ売上高}}$$

(4)対象とする製品の範囲を広げて活動を推進します。

○：達成 x：未達成・改善努力要 -：評価対象外

	評価	2005年度目標	~2010年度目標	掲載頁
	○	1990年度比 97%以下に削減	93%以下に削減	p.11
	-	1990年度比 50%削減	継続して削減	p.12
	○	1998年度比 80%以下に削減	70%以下に削減	p.13
	-	全工場とも 5%以下	最終処分率低減の継続	p.13
	○	2000年度比 30%削減	排出量削減の拡大	p.15
	○	「禁止物質」の排出全廃	-	p.15
	○	保管管理の徹底	保管管理の徹底と処理計画の立案	p.10
	○	登録適用率 63% (4)	登録適用率 70%	p.19
	○	顧客仕様品について化学物質の使用削減を推進		p.21
	○	鉛フリー化拡大 ・2004年度 電気・電子機器対象 ・2006年度まで その他製品対象		-
	○	含有化学物質調査の推進 ・2004年度 電気・電子機器対象に推進 ・2006年度まで その他製品対象に推進		-
	○	・環境経営の推進と拡大 ・温暖化防止クリーン開発メカニズム等への参画		p.24
	○	・従業員家族向け広報の継続 ・グループ会社へのeラーニング拡大		p.9
	○	社会貢献活動の拡大		p.22